

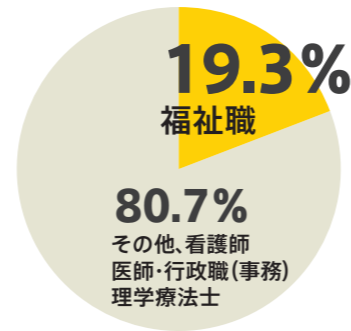
療育センターとは

児童福祉法及び障害者総合支援法に基づく障害児・者のための支援を提供する事業所として、また、医療法に基づく病院として、肢体不自由の児童や、重度の身体障害と知的障害が重複した重症心身障害の児童・成人に対する療育事業や、心身障害児・者に対する総合的な医療と療育を行っています。



様々な分野のプロフェッショナルが連携して入所されている方々、在宅で生活されている方々を支えています。

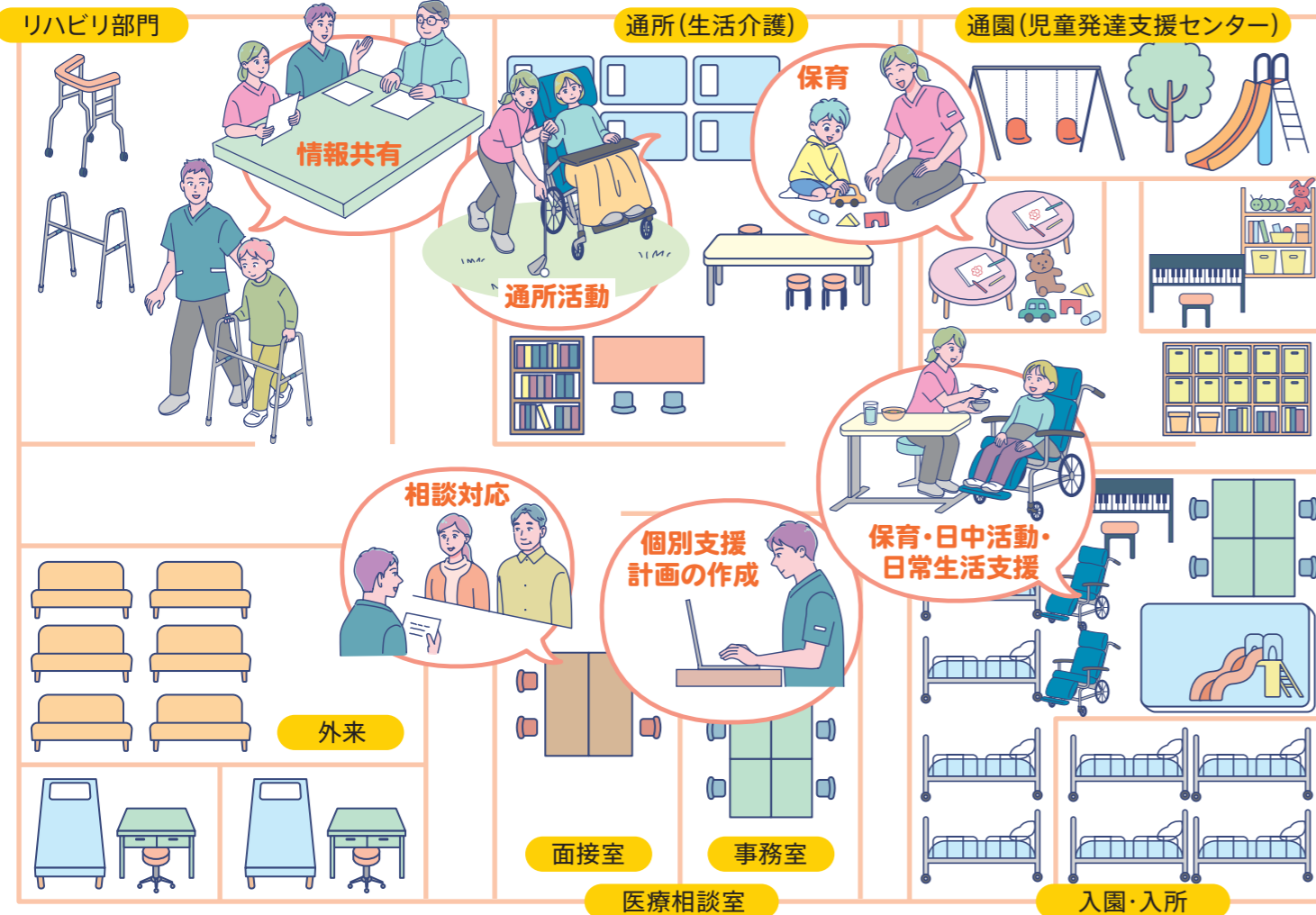
療育センターにおける福祉職の割合



(令和6年6月1日現在)

医師	看護師	薬剤師	放射線技師	福祉職
検査技師	チーム療育			心理士
歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	栄養士

イメージマップ



(医療型障害児入所施設・療養介護)

仕事内容

福祉職はチーム療育の中で、多岐に渡る重要な分野を担っており、児童指導員や保育士、生活指導員、児童発達支援管理責任者、サービス管理責任者、医療ソーシャルワーカーとして活躍しています。

入園(医療型障害児入所施設、療養介護)

肢体不自由児を主な対象として、医療・健康管理、リハビリ、保育、生活支援などを行い、児童の心身の成長・発達を支援します。福祉職は、保育や生活支援を担い、学齢期の児童の通学支援なども行います。

通園(児童発達支援センター)

6歳未満の就学前の発達に課題のある児童を対象として、単独通園・親子通園により、医療・健康管理、保育、リハビリ、基本的生活動作の支援等を行い、児童の心身の成長・発達を支援します。

ご家族にも療育の知識やリハビリの方法と一緒に学んでもらうとともに、保護者同士のつながりの場にもなっています。福祉職は保育や生活に関わる支援、ご家族の子育ての悩みなどへの相談に対応します。

入所(療養介護、医療型障害児入所施設)

重症心身障害者を主な対象として、医療・健康管理、リハビリ、日常生活支援(介護)、日中活動などを行い、より豊かな生活が送れるよう支援します。福祉職は、日常生活支援(介護)や日中活動を担います。

通所(生活介護)

18歳以上の地域施設等への通所が困難な重症心身障害者を対象として、医療・健康管理、日常生活支援(介護)、日中活動、運動機能の低下防止などを行い、地域社会の中でできるだけ長く生活するために必要な支援を行います。福祉職は、在宅・家族支援や医療的ケアの実施、日常生活支援(介護)、日中活動を担います。

医療相談室

利用者やご家族が抱えておられるいろいろな生活上の問題について、その解決のために福祉職がソーシャルワーカーとして、相談に対応します。

東京都療育センターの魅力

- 1 利用者の方々と出会い、気持ちを分かち合い、ともに成長することができる職場です。
- 2 様々な職種の職員が連携しながら利用者の支援にあたっており、多職種で学び合える環境があります。
- 3 種別の異なる事業を複数実施しており、様々な角度から福祉職としての成長・スキルアップを図ることができます。(センター内の他の部署への異動も可能です!)
- 4 資格取得支援や職場外研修・学術集会への参加、テーマ別・経験年数別の職場内研修など、職員のスキルアップを積極的に支援しています。



VIEW MORE

インタビュー動画公開中!



療育センター
施設職員
Kさん

日々の“小さな気づき”
が喜びとなる職場です

誰かの役に立ちたい、
ボランティア経験から療育の道へ

大学での実習や、小学校の特別支援級のボランティアの経験をしていたとき、子供たちが一日一日を頑張っている姿を見て、何らかの困難なことを抱えている方たちの支援をしたいと思うようになり、療育の道を志しました。また、療育を学んでいきたいという気持ちと同時に、他の分野でも経験を積んで、様々な角度から支援ができる福祉職になりたいと思っていたので、東京都を志望しました。

笑顔のあふれる明るい職場

私は現在、医療型障害児入所施設・療養介護の機能を持つ病棟で利用者の方々の日常生活支援や活動の提供を行う仕事をしており、着替えや排泄介助、入浴などの生活支援を行ったり、余暇時間が楽しく過ごせるように日々関わっています。

就職する前は、北療育医療センターという名前から、医療色が強くて少し引き締まった雰囲気のある堅い職場を想像していたのですが、実際に就職してみると、皆さん笑顔で、とても柔らかい雰囲気の職場だったので、良い意味ですごくギャップがありました。これから就職される方々にも、「明るくて楽しい職場だから、安心して飛び込んで!」と言いたいです。

笑顔の花が咲いた春まつり

就職して1年が経った頃、初めて中心者として企画した大きな行事が春祭りでした。様々な利用者の方がいらっしゃるので、全員が楽しめる企画ができるか不安もありましたが、先輩職員の方々にサポートしていただきながら歌合戦や卒業・入学のお祝いをしました。自分が企画した行事でたくさんの笑顔があふれ、とても嬉しかったです。

利用者の方々の成長が私の原動力

利用者の方々との関わりの中で、変化を感じる場面があります。ある利用者の方は、今まで感情を言葉で表現することが難しかったのですが、日々の関わりを通して少しずつ変化していき、今では「楽しい」や「悲しい」という感情をきちんと言葉にできるようになりました。また、活動の中でいつもは動きの少ない方が手を挙げてくれたり、ニコリと笑顔を見せてくれたりすると、楽しんでくれているのだなとホッとした気持ちになるし、気持ちが通じた気がしてとても嬉しいです。

利用者の方々の小さな変化に気付いたり、笑顔を見られたりすることが、私の大きなやりがいにつながっています。

多職種で連携しながら、利用者の方と共に成長していく

コミュニケーションをとることが難しい利用者の方も多いので、気持ちをうまく汲み取れないときは、「どんな声掛けをしたらよかったですか?」と悩むこともあります。利用者の方々と深く関わり、その時々での小さな変化を見逃さずに対応することで、信頼関係を築き、気持ちが通じ合うようにできたら良いと思っています。わからないことがあったら、一人で抱え込まずに信頼できる先輩方の意見も聞きながら、利用者の方々に最適な環境を整えていきたいと思っています。

職場には本当にたくさんの職種の職員が働いています。皆プロフェッショナルなので、それぞれが大切にしている考えもあり、その思いを尊重し合いながらまとめていく難しさはあると思いますが、同じ方向に向かって取り組めたときには何倍ものパワーになって良い支援につながられていると思いますし、それが多職種連携の魅力だと思います。同期には看護師



もいて、私も日々悩んでいることや、嬉しかったことなどを共有し、横のつながりも大切にしながら仕事ができている。様々な職種の職員と連携して支援にあたっているの、わからないことは専門職に教えてもらうことができ、初めてでも安心して働くことができます。

療育の仕事は自分自身も成長できるとても楽しい仕事です。これからも経験を積み重ね、医療や看護の知識も深めながら、利用者の方々の生活をより彩れるような支援を目指して、これからも努力していきたいです。多くの方に療育に興味を持っていただき、一緒に働けたらうれしいです。一緒に成長していきましょう!

東京都 nice point!
充実した教育支援プログラム

療育センターでは、利用者の方々への支援を行うために幅広い知識やスキルが求められます。職員が不安に思うことがないよう、充実した教育支援プログラムを用意し、職員のスキルアップを支援しています。職場における研修はもちろん、公務の中で、全国重症心身障害児者施設職員研修会等に参加したり、テーマを決めて研究を行い学術集会で発表するなど、職員自ら課題に取り組み、専門性を向上させていく風土があります。



幼稚園登園が障害児入所施設
利用者の成長、発達に与える影響

2024年11月9日
「日本重症心身障害学会学術集会」にて演題発表